

平成 19 年 10 月 11 日

記者発表資料

信長居館発掘調査 2 区の調査成果について

調査期間 7 月 19 日～現在調査中

調査面積 約 34 m² (幅 2 m × 15m + 拡張部分幅 1.2m × 3 m)

ロープウェー乗場と三重塔の間に位置する平坦地を調査しました。これまでにまったく調査が行われていない部分であるため、重機を使わず地表面から人力による掘削により、掘り下げていきました。

表土の下にはチャートの角礫が山側から流れ込んだ形で厚く堆積していました。このような石は裏込め石(石垣や巨石列の裏側に詰められる石)の可能性が高いため、石垣の存在が考えられましたが、調査した範囲では石垣の痕跡は確認できませんでした。戦国時代の遺構は、この礫層のさらに下で確認しました。

調査成果

2 時期の遺構面を確認しました。

信長の岐阜入城以降の時期(1567 年～1600 年)と考えられる遺構を確認

巨大な石 南北幅 1.1m、東西幅 1.7m。

石列 北西から南東方向に並ぶチャートの石列(約 2.5m 分)

石敷遺構 砂岩の円礫(川原石)を張ったもの

集石遺構 チャート、砂岩の集石

石列と石敷遺構の周囲には粘土の層が堆積している。

調査区西側 1/3 は後世の削平により地面が削られている。

遺構面が焼けている痕跡は確認できなかった。

礎石などは確認できなかったことから、建物が建っていたとは考えにくい。

戦国時代の火災の痕跡、下層遺構（斎藤時代？）を確認

上層遺構の作られた地面の下には炭・焼土の層が確認できました。遺物などによる年代確定はできていませんが、過去の発掘調査の状況などからみて、これは1567年（永禄10年）に信長が稲葉山城を攻略した際の火災の跡の可能性がります。その下では一段階古い時期の礎石の可能性のある石などを部分的に確認しました。上層遺構は火災の後につくられているところから、遺構の時期は1567年？以降1600年までと考えられます。

確認した遺構の評価について

今回確認した石列、石敷遺構などは庭園の一部である可能性が高い

16世紀代の大名クラスの庭園としては以下の遺跡があげられる。

福井県一乗谷朝倉氏遺跡の4庭園（国特別名勝）	16世紀前～後半
山口県山口市大内氏館跡（国史跡）	15世紀末～16世紀半ば
大分県大分市大友氏遺跡（国史跡）	15世紀末～16世紀後半
徳島県藍住町勝瑞館跡（国史跡）（三好氏）	16世紀後半

小牧山城の山麓の信長館推定地や安土城の山頂主郭部分では、これまでに庭園と呼べる遺構は確認されておらず、もし今回の遺構が庭園の一部であるならば、初めて信長の庭園遺構が確認されたことになる。またポルトガルの宣教師ルイス・フロイスの著書『日本史』には庭園に関する記述があり、その庭であった可能性もある。

（宮殿）内の部屋、廊下、前廊、厠の数が多いばかりでなく、はなはだ巧妙に造られ、... 私たちは広間の第一の廊下から、すべて絵画と塗金した屏風で飾られた約二十の部屋に入るのであり... 前廊の壁は、金地に中国や日本の物語の絵を描いたもので一面満されていました。

この前廊の外に、庭と称するきわめて新鮮な四つ五つの庭園があり、その完全さは日本においてははなはだ稀有なものであります。それらの幾つかには1パルモの深さの池があり、その底には入念に選ばれた清らかな小石や目にも眩しい白砂があり、その中には泳いでいる各種の美しい魚が多数おりました。また池の中の巖の上に生えている各種の花弁や植物がありました。下の山麓にため池があって、そこから水が部屋に分流しています。そこに美しい泉があり、他の場所にも、宮殿の用に思いのまま使用できる泉があります。・・・

ルイス・フロイス『日本史』松田毅一・川崎桃太 訳

仲 隆裕（なか たかひろ） 京都造形芸術大学教授（庭園史）のコメント

- ・石列より南側には水が流れていたか、池であった可能性があると考えられる。その場合、石敷遺構の川原石は州浜の石で、立て並べた石列は州浜の裾止め石に相当するとみられる。
- ・部分的に石が集まっている場所は、景石や手水鉢の根石の可能性はある。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 州浜(すはま) | - 池の水際に敷き詰めた石敷き |
| 景石(けいせき) | - 日本庭園で、風趣を添えるために所々に配した石 |
| 手水鉢(ちょうずばち) | - 手を洗う水を入れておく鉢 |

今後の予定

庭園遺構である確証を得るとともに、その範囲や平坦地全体の性格、構造を明らかにするため、次年度以降も調査を実施する予定です。

発掘現場公開について

- 2区 調査は10月上旬で完了予定。

埋め戻しを延期し、一部を11月23日まで公開します。

- 3区 9月27日から調査を開始、12月中旬終了予定。

公開日を設定し、現地をごらんいただきます。

2区の現地公開は平日の他、10月14日（12時30分～15時30分）、10月21・28日、11月4・11・18日の日曜日（9時30分～12時30分）の間に行います。（日曜日は説明のみとなります）

3区の現地公開は11月9・16日（金）の10時～15時に行います（お昼休み12時～13時を除く）

公開最終日の11月23日（金・祝）には「特別公開！信長の奥座敷」として2・3区の現地公開、説明を行います。（10時～12時）いずれも雨天中止

【問い合わせ先】

岐阜市教育委員会社会教育室
電話 058-265-4141（内線 6357）
担当 高橋方紀・内堀信雄